



十文字西 公民館だより

■令和4年度－8号
令和4年 11月 1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

十文字西地区交流センター長
(兼) 公民館長 近 孝夫



十文字西地区の皆様お元気ですか。

新型コロナウイルスの影響で、10月に計画していた交流センター（公民館）の最大の行事である「センターまつり」や、8月に実施すべき地区民大運動会が中止になりました。本当に残念であります。これを契機に「例年通りは退化にすぎない」をモットーにし、コロナ禍で得た貴重な体験を無駄にせず地域住民と運営協議会が一丸となって話し合い「魅力ある事業」を計画していただければ幸いです。今後ともよろしく申し上げます。

ところで、フリー百科事典によると、日本では旧暦11月を霜月（しもつき）と呼び現在では新暦11月の別名として用いています。「霜月」は文字通り霜が降る月であります。他に「食物月（おしものづき）」とする説や「凋む月（しぼむつき）」「末つ月（すえつつき）」が訛ったものとする説もあります。また、「神楽月（かぐらづき）」「子月（ねづき）」等の別名もあります。

次に令和3年度の公民館事業は次の通りです。

●●●令和3年度 十文字西公民館の主な活動●●●

<館長兼センター長> 近 孝夫 (秋田県公民館連合会副会長 横手市公民館連絡協議会会長)
<運営協議会 会長> 鈴木淳悦 <事務局> 吉村美貴子

■ 11月18日 第71回秋田県公民館大会

会場：横手市民会館（オンライン開催）会長：十文字西公民館長：近 孝夫

演題：「コロナ禍における公民館実践の展望と課題～公民館にできることは～」

講師：国立大学法人 弘前大学教育学部 準教授 越村 康英 氏

◎事例紹介1 「横手市の家庭教育支援について」

横手市家庭教育支援チーム「どんぐりすのもり」 代表 佐々木 広恵 氏

横手市教育委員会 教育総務部 生涯学習課 主査 本間 亜紀子 氏

◎事例紹介2 「コロナ禍における公民館の役割」

岡山県教育委員会生涯学習課公民館振興室 主任（社会教育主事） 田中 純子 氏



～ 偉人の言葉に学ぼう ～



◆心に響く「論語」より

「子曰く、故きを温ねて新しきを知れば、以て師と為すべし。」

《意味》 古いことを研究し、そこから新しい知識や方法を得る人がいれば、その人を指導者としてよい。「温故知新」という四字熟語の基になった言葉です。

西地区交流館

(西地区館隣接)

お知らせコーナー

佐藤政子押花クラフト教室 作品展開催!

●期間 11/1(火)~12/26(月)

- 地域の皆さんの創作活動を紹介する場として、展示室を活用し定期的に作品展を開催することになりました。佐藤正氏が研究された郷土資料と共にご覧ください。また、かかれた創作活動をされている地域の方をご存じであればお知らせください。

★安心安全教室「コロナ禍での家族防災」を実施しました!

- 10/23(日)西地区館多目的ホールで、日赤秋田短大講師の及川真一氏を迎え、交流センター運営協議会委員と消防団を対象に防災講座を実施しました。具体的な体験に基づいた講話では、楽しみながら継続して学ぶこと、日常と非日常の区別がない「毎日防災」の考え方や、災害時には第一に自分の命を守るという自助の意識の大切さを考えさせられました。テントと段ボールベッドの組み立ても体験し、参加者は防災への意識を新たにしました。



- 朝夕の寒さが日ごとに増してきましたね。庭先の木々も鮮やかに色づき始め秋の深まりを実感する今日この頃です。季節の変わり目、体調を崩さぬよう元気にお過ごしください。

(事務局)

